

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 給与制度の見直し等について
交渉日時 平成29年10月6日(金) 13時00分～15時00分
交渉場所 うじ安心館 3階ホール
交渉出席者 当局側 山本市長、宇野副市長 中上市長公室長 福井市長公室副部長
波戸瀬人事課長 岡部人事課副課長 岡野同課人事研修係長
西川同課給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計14人

概要	
組合の主張	<p>給与制度の見直しに関する交渉を行った。</p> <p>① この見直しについては、職員にとって極めて厳しい内容であり、なおかつ、これまで労使間で積み上げてきた経過を大きく覆す内容であり、受け入れられるものではない。特に級別職務の見直しは、組合員の分断をもたらすもので重大な問題を持つ内容である。</p> <p>② 旅費については、かつて、近距離出張の課題を整理した際に、当局として現状を肯定する判断をしたのではないのか。なぜ、このタイミングで見直しを行うのか。</p> <p>③ これらの見直しに係る内容と、本年の人事院勧告等に基づく給与改定及び今後想定される退職手当の引き下げなどの課題について、どのように交渉を進めて行くつもりか。</p>
当局の主張	<p>① 本市のラスパイレス指数は、政令市・中核市を除く全市区町村で、2年連続で2位となっている。市民理解の得られる給与制度という観点からは、ラスパイレス指数の縮減に向けた取り組みが必要であり、全職員の昇給抑制と級別職務の見直しを行いたい。</p> <p>② 実費弁償という旅費の性質上、費用が発生することがほとんどない近隣市町への出張に日当を支給することについては、市民理解が得られるものではないため、見直しを行いたい。</p> <p>③ 本日の提案内容と本年の人事院勧告等に基づく給与改定等とは、それぞれ別の課題であると考えているが、今後の交渉の進め方については、条例事項も含んでいることを踏まえての議論が必要であると考えている。</p>